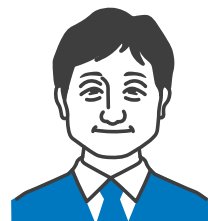


大学の知見・設備を産業界に開放し地域経済を牽引



代表社員 ありあけ じゅん
有明 順

合同会社 Seed Flat

〒010-1224 秋田市雄和種沢字戸草沢209

TEL:018-853-0785

FAX:018-853-0786

<https://www.akita-u.ac.jp/dendouka/motorlab/ja/>

新世代モーター特性評価ラボ



航空機電動化に向かう大学と企業の架け橋

秋田大学の施設である「新世代モーター特性評価ラボ」が誇る最先端の試験評価設備を、産業界へ開かれた共通基盤として有効活用するために設立された合同会社Seed Flat。内閣府の地方大学・地域産業創生交付金事業により導入された世界水準の設備群を整え、県内企業を含む関係者が出資する中立的で自立的な運営主体として、評価試験の企画や調整、運営支援から受託業務までを一手に請け負っている。

旧種平小学校の校舎を活用した同施設では、単なる設備の貸し出しにとどまらず、出資企業の人材を大学教員が教育・認定するオペレーター育成体制を強固に構築。将来は認定オペレーターが同社の業務としてデータ解析や試験計画の提案など、幅広い業務を担う存在となることを目指す。

100%県営水力発電由来のグリーン電力で運用される環境のもと、ドローンや電動船舶など世界的な市場拡大も見据え、同社は秋田の地から次世代モビリティ産業の未来を支え続けていく。

新世代モーター特性評価ラボとは？

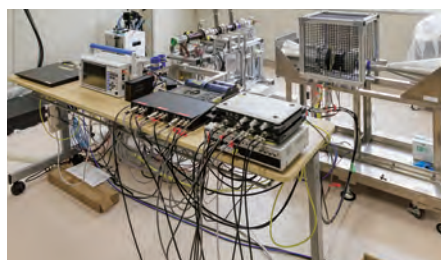


秋田大学
電動化システム共同研究センター
くつざわ けいち
特任教授 沓澤 圭一 氏

秋田大学と秋田県立大学が共同運営する当ラボは、航空機の脱炭素化に向けた電動化システムの研究開発拠点です。旧種平小学校の校舎や体育館を活用し、150～200人乗り航空機の実寸大電力網を再現した配線設備や、国内最大級となる400kW級のモーター評価装置を導入。実際の飛行前に地上でシステム全体の統合評価ができる日本唯一の施設として、大学の先端研究と企業の技術開発を結び、次世代航空機の社会実装に向けて日々取り組んでいます。



出力400kW、最高試験速度20,000rpmまで対応可能な国内最大級のモーターベンチ。



5kW級プロアの性能を評価できる装置が備えられており、耐久試験にも対応できる。



MW級航空機推進用モーターの実寸大模型。